



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.10 (139)

2015.10.30

今年の10月の天候は、珍しく晴れの日に恵まれ、「遊」と「学」が大いに進んだようです。本年も残り2カ月となりました。「作品づくり」をはじめ、印象にのこる活動を勢いよく進めたいと存じます。ご一緒によりしくお願いいたします。

1 10月13日(土)に、本研究会も設立11周年を迎えました。満11歳ということになります。以降に諸事業が計画されていたこともあり、当日には、特別の会合はもたなかったのですが、今後の活動と方向性について意を新たにいたしました。「世界に唯一のNPO」を目指して着実に歩を進めたいと思います。ご協力・ご支援をよりしくお願いいたします。

2 定例研究会[東京]2015-10-23が以下の次第で開催されました[敬称略]

日時：2015年10月23日(金)。13時～17時

場所：ファイザー(株)

演者・演題：

五十川直樹. 2値応答の複数の臨床試験結果を利用するMeta-Analytic PriorおよびJoint Power Priorの性能評価.

川端ゆみこ. Boagモデルとベキ正規Boagモデルの比較.

大江基貴. 罰則つきスプライン平滑化ROC曲線.

丸尾和司. 経時データにおけるベキ変換に基づく中央値の差の推測について.

河合統介. 最近の話題から.

松原義弘. 癌領域における第II相臨床試験に関して.

後藤昌司. ベキ変換と拡張の諸型.



—定例研究会でのひとこま—

課題検討会は「みょうがや」で開かれ、6名の方々が参加されました。最近の「事象」について熱い議論を交わされました。

3 定例シンポジウム2015「医療で必要とされる統計的基礎知識」が以下の次第で開催されました
[敬称略].

日時：2015年10月24日(土)．10時～17時15分.

会場：ファイザー(株) 会議室.

組織者：河合統介・松原義弘・後藤昌司



—定例シンポジウム2015でのひとこま—



—情報交換会でのひとこま—

情報交換会は「魚や」で開かれ、18名の方々参加されました。本シンポジウムでの問題点や課題などが議論されました。

お礼：本シンポジウムにご参加いただいた方々，講師の久保田 潔，青木事成，横山和浩，藤井陽介，

磯村達也，平川晃弘の諸先生，また座長として討論を先導していただいた吉永卓成さんに心よりお礼を申し上げます。シンポジウムの企画から実施までの諸々の過程にわたり，お世話いただいた河合統介さんと五十川直樹さん，さらに，企画・立案から実施までの過程でご支援いただいた藤澤正樹さんに心よりお礼を申し上げます。本シンポジウムでご提案，さらには議論された内容につきましては，今後のシンポジウムの参考にさせていただきます。ありがとうございました。・・・・・・（松原義弘・後藤昌司）

4 大分統計談話会・第52回大会が以下の次第で開催されました[敬称略].

日時：2015年10月8日（木），9日（金）

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AVホール

本談話会での初日には，代表世話人の越智義道先生のご還暦を祝う特別セッションが設けられ，多くの仲間の方々のお祝いコメントと講演がありました。





—大分統計談話会 52 回大会・情報交換会でのひとこま—

- 5 今後の予定を以下に記しています。書き留めてご参加・ご協力いただくと幸いです [敬称略].
 (1)特定主題セミナー2015「臨床評価における計算環境 R とその課題」が、以下の次第で開催されま

す。奮ってご参加いただくと幸いです。

日時：2015年11月14日（土）9時50分～17時30分。

会場：豊中市中央公民館

組織者：下川敏雄・杉本知之・松原義弘

プログラムは、本ニューズレターの前号、さらにはホームページに掲載しておりますが、講師が変更になりましたので、改めて以下に記します。

- | | | |
|-------------|-------------------------|------------------------------------|
| 9:30-9:40 | 開会挨拶 | 松原義弘（特定非営利活動法人 医学統計研究会） 座長 松原義弘 |
| 9:40-10:55 | 計算環境 R とそれに基づく統計実践 | 下川敏雄（和歌山県立医科大学） |
| 10:55-11:05 | 休憩 | |
| 11:05-12:20 | Rによる統計的シミュレーション・実践編 | 杉本知之（弘前大学） |
| 12:20-13:30 | 昼休憩 | |
| | | 座長：藤澤正樹（あすか製薬株） |
| 13:30-14:45 | Rによる計量データの解析：パッケージと開発環境 | 坂本 亘（岡山大学） |
| 14:45-15:00 | 休憩 | |
| 15:00-16:15 | 「R」のHPCとRhadoopについて | 安部文武（富士通株） |
| 16:15-16:30 | 閉会挨拶 | 後藤昌司（特定非営利活動法人 医学統計研究会） |

(2)恒例のウィンター・フォーラム2015が以下の次第で開催されます。今後の予定に書き留め、ご参加いただくようお願いいたします。

①研究・活動報告会

日時：2015年12月5日（土）9時30分～17時30分

会場：千里朝日阪急ビル 第1会議室

住所：大阪府豊中市新千里東町1丁目5番3号 電話：06-6873-2608

②納会

日時：2015年12月5日（土）18時～21時

会場：「順平」

(3)冬季セミナー2016鹿児島が「科学研究費C『医学分野における非線形回帰法の理論と応用に関する研究集会』（研究代表者：下川敏雄）と共催で以下のように開催されます。奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2015年1月23日（土）9時30分～17時30分

会場：宝山ホール（鹿児島県文化センター）

組織者：米山昭成・梅田佳史・勘場 貢・下川敏雄

プログラムは、現在、作成中です。

(4)特定主題シンポジウム2016「臨床評価におけるバイオマーカの活用」が、以下の次第で開催されます。

日時：2016年1月30日（土）9時50分～17時30分。

会場：アステラス製薬株 会議室

組織者：武田健太郎・河合統介・廣岡秀樹

プログラムは、近日中に配信いたします。多くの方々のご参集を期待いたしております。

(5)大分統計談話会・第53回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2016年2月9日（火）－10日（水）。

会場：富士通大分システムラボラトリ

世話人：越智義道

幹事〔窓口〕：志賀 功・衛藤俊寿

プログラムは近日中に配信いたします。

編集後記：組織が一つの文化のもとに「うまく」運営されていくには、リーダを中心にした何らかの意味で強いその「仲間」たちが必要なことは、古来から「組織論」として論じられてきた。とくに、「リーダシップ」の視点から論じた書物や教えは数多くある。先日の大分統計談話会第52回大会では、「臨床評価における統計家のリーダシップ」の特別セッションがあり、非常に有益で興味をそそる講演と議論があった。その議論の中でリーダシップだけでなく、「フォロワーシップ」も重要であることを指摘した。因みに、フォロワーシップとは「企業論理やリスク回避というリーダの視点でなく、いかにすればフォロワーが育つかを前提に考える」（中竹竜二。リーダシップからフォロワーシップ。阪急コミュニケーションズ、2009）組織論である。フォロワーシップを志向すれば、「リーダシップ」だけを追い求めて「裸の王様」になる危惧が小さいとのことである。新しい視点としてリーダの懐に抱く心得のようである。・・・・・・・・・・・・・・・・名和田 潜



Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範
連絡先：医学統計研究会 事務局〔吉田 舞・後藤 孚〕

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。